第1回　佐久市立中込小学校施設長寿命化改修地域協議会概要

日時	令和6(2024)年9月5日(木)午後４時00～5時30分
場所	中込小学校　ICT会議室
出席委員 (敬称略)	中澤裕美、土屋聡、木内文夫、金井彰德、廣末恵子、柳澤洋介、柳沢隆一、 石山道泰、白鳥貴文、清水由実子、田中聡子、飯森康博、井出忠臣
事務局	佐々木学校教育部長、土屋教育施設課長、高橋教育施設建築係長、 大井専門員、寺澤主任、小山技師

会議事項

(会議に先立ち委嘱書の交付)
1　開会
2　あいさつ
3　自己紹介
4　佐久市立中込小学校施設長寿命化改修地域協議会について
5　会長・副会長の選出　→廣末恵子委員を会長に、柳澤洋介委員を副会長に選出
6　会長あいさつ
7　会議事項
　(1)佐久市学校施設長寿命化計画について
　(2)中込小学校校舎等の現状について
　(3)今後の進め方について
　(4)意見交換等
8　閉会

委員からの主な意見・課題(要旨)(「⇒」:事務局からの回答)

〇校舎について
・昇降口のデザインを、そのままにしてほしい。
・職員室・事務室が玄関から遠く、案内・説明がしづらい。
・廊下側から蜂が入ってきて危険なため窓に網戸がほしい。
・廊下にある水回りはかなり古く、使い勝手が悪いように思う。
・怪我をした子がスムーズに上下移動できるようにエレベーターを設置してほしい。
・教室の床材を改善してほしい。
・動線が混在している様に思われる。
・校舎から体育館への通路は、雨に濡れないようにしてほしい。
・玄関、下駄箱が暗く感じる。
・和式便所が使えない子どもがいるので検討してほしい。

〇学習環境
・大きなテーブルを囲んで皆で活動できるような部屋があると良いと思う。
・講義型から対話的な学習に転換するにあたり、今の教室では狭く感じる。
・教室が暗く感じる。
・理科室、図工室は不要であると思う。最近はPCで実験を行っており、爆発のおそれのあるような実験は行っていないと聞いている。

・インクルーシブ教育を進めていく中で、色々な子供たちがどこでも学習できる状態にしてほしい。

・タブレットで授業をしているので Wi-Fi は必要である。

〇性能・設備機器
・改修後の校舎はできるだけ省エネルギー化してほしい。
・冬季は体育館が寒いので、暖房設備を設置してほしい。
・外断熱、二重サッシを導入し、さらに屋根をもう1枚掛けることでより良い学校になると思う。

〇学校敷地内
・子供が落ちて怪我をしないように、校庭の嵩上げをして学校敷地内をフラットにしてほしい。
・卒業生にとって大切な二宮金次郎などの石像や石碑、桜は残してほしい。
・校舎と校庭の間を学校関係者以外が、近道のために通行するので、防犯面で安全性に欠けると思う。
・子ども達が自由に外に出られる様な中庭の整備をしてほしい。

〇地域・学校敷地周辺
・学校敷地を削り周辺道路を拡幅することで大型バスが通れるように、また車が相互通行できるようにしてほしい。
・学校図書館と地域図書館を１つにしている事例があり、敬老会の皆さんと図書館で一緒に本を読めると良いと思う。
・安全に地域の方と交流するため、地域の方が入れる空間と、子供たちの安全が守られる空間をつくってほしい。
〇中込小学校の長寿命化を進めるにあたり
・40 年後まで使用できる校舎の改修を目指している中で、今後の中込小学校の児童数推移は横ばいであり、統合の可能性はないとのことであるが、今後、中込小学校と佐久城山小学校が統合されないか心配である。
⇒佐久市の方針としては、原則それぞれの学校を存続させることを考えている。例えば、1つの学年において子供たちが減少し、2つの学年が複式学級となる場合には、統合なども検討する必要がある。現時点で佐久城山小学校や中込小学校はそのような状況ではないため、それぞれの学校で長寿命化を図る方向で進めたいと考えている。

今後の進め方

第１回（９月５日）現状の把握 → 第２回（11 月予定）課題の整理 → 第３回（２月予定）意見のまとめ → （３月予定）教育委員会へ報告